

## 入札公告等の概要(参考)

本資料は、本工事の入札公告に示した条件の概要や工事内容をお知らせするための参考資料で、契約図書の一部ではありません。

本工事の詳細な内容に関しては、公告文及び入札説明書等をご覧ください。

工事名	法務省浦安総合センターA館他 (24) 機械設備改修工事
工事種別	暖冷房衛生設備工事
工事場所(都県)	千葉県
工事場所(市区町村)	千葉県浦安市日の出2-1-16
工事概要	敷地面積 16,961m <sup>2</sup> 1. 建物 1) 庁舎(A館) 構造 鉄骨造 地上5階 塔屋1階 建築面積 約1,170m <sup>2</sup> 延べ面積 約4,710m <sup>2</sup> 用途 庁舎 2) 庁舎(B館) 構造 鉄骨造 地上8階 塔屋1階 建築面積 約710m <sup>2</sup> 延べ面積 約5,340m <sup>2</sup> 用途 庁舎 工事内容 空気調和設備、換気設備、自動制御設備、給水設備、消火設備、撤去工事
担当事務所	東京第二営繕事務所
公告日/期限日/開札日	R6.5.10 / R6.6.4 / R6.8.20
工期	本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、余裕期間を設定した工事である。 詳細は入札説明書による。 工期：令和6年10月1日から令和9年2月26日まで (余裕期間：契約締結の翌日から令和6年9月30日まで) 指定部分工期：令和8年5月15日まで (対象部分 庁舎(A館))
入札契約方式/落札方式	一般競争入札(標準型)/総合評価落札方式(技術提案評価型S型)(WTO)「技術提案評価型」
競争参加資格要件の概要	等級(ランク) 関東地方整備局(港湾空港関係を除く。)における暖冷房衛生設備工事に係る一般競争参加資格の認定の際に客観的事項(共通事項)について算定した点数(経営事項評価点数)が、1,100点以上であること。 (会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、関東地方整備局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けた者にあつては、当該再認定の際に、経営事項評価点数が1,100点以上であること。)
	企業の施工実績等 平成21年4月1日以降に、元請けとして完成・引渡し完了した下記(ア)の要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。ただし、異工種建設工事共同企業体については適用しない) なお、同種工事の施工実績は建築物における施工実績に限る。また、建築一式工事における施工実績は認めない。 (ア) 空気調和設備(機器及び配管の施工を含むものに限る。)の更新又は新設

		<p>ただし、申請できる同種工事の施工実績は1件のみとし、これを超える件数の施工実績を申請した場合は、申請されたすべての工事を実績として認めない。また、軽微なもの（請負代金額が500万円未満の工事）は、実績として認めない。</p> <p>上記（ア）の実績が国土交通省が発注した工事又は工事成績相互利用対象工事のうち入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、評定点合計が入札説明書に示す点数未満であるものを除く。</p> <p>経常建設共同企業体にあっては、構成員のそれぞれが上記（ア）の施工実績を有すること。</p> <p>なお、異工種建設工事共同企業体としての実績は、協定書による分担工事の実績のみ同種工事の実績として認める。</p>
	<p><b>配置予定技術者の資格、工事経験等</b></p>	<p>次に掲げる基準を満たす主任（監理）技術者を当該工事に専任で配置できること。また、本発注工事は余裕期間を設定した工事であり、契約締結日の翌日から工事の始期までの間は、主任（監理）技術者の配置を要しない。</p> <p>複数の技術者を申請する場合は、申請するすべての者について次に掲げる基準を満たしていること。</p> <p>① 主任技術者は、1級管工事施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。あるいは、本発注工事の工事種別に対応した登録基幹技能者講習修了証を有する者であること。</p> <p>監理技術者にあっては、1級管工事施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。詳細は入札説明書による。</p> <p>② 1人の者が、過去に、元請けとして完成・引渡し完了した下記（ア）の要件を満たす同種工事の経験を有すること。（共同企業体の構成員としての経験は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。ただし、異工種建設工事共同企業体については適用しない。）</p> <p>なお、同種工事の工事経験は建築物における工事経験に限る。また、建築一式工事における施工実績は認めない。</p> <p>（ア） 空気調和設備（機器及び配管の施工を含むものに限る。）の更新又は新設</p> <p>ただし、申請できる同種工事の工事経験は1件のみとし、これを超える件数の工事経験を申請した場合は、申請されたすべての工事を経験として認めない。また、軽微なもの（請負代金額が500万円未満の工事）は、経験として認めない。</p> <p>上記（ア）の経験が平成8年4月1日以降に完成・引渡し完了した国土交通省が発注した工事又は工事成績相互利用対象工事のうち入札説明書に示すものに係る経験である場合にあっては、評定点合計が入札説明書に示す点数未満であるものを除く。</p> <p>経常建設共同企業体にあっては、構成員のうち1社の主任（監理）技術者が上記（ア）の工事経験を有していればよい。</p> <p>なお、異工種建設工事共同企業体としての経験は、協定書による分担工事における経験のみ同種工事の経験として認める。</p> <p>③ 監理技術者にあっては、監理技術者資格者証を有し、監理技術者講習を修了している者であること。</p> <p>④ 配置予定の主任（監理）技術者にあっては 直接的かつ恒常的な雇用関係が必要であるので、その旨を明示することができる資料を入札説明書別記様式－1－1で求めており、その明示がなされない場合は入札に参加できない。詳細は入札説明書による。</p>